

# 生きのびるための事務

坂口恭平 (著)

単行本：224 ページ

出版：マガジンハウス

価格：1,760 円 (税込)

## はじめに

「事務」というワードで皆さんが想像するイメージはどのようなものでしょうか？作家、アーティスト、建築家として活躍する坂口恭平氏による本書は、「事務とは夢を現実にするたった一つの技術」であると主人公と「ジム」という名前のキャラクターによる漫画で解説しています。

## そもそも事務とはなにか？

企業における事務と聞くとパソコンを使った帳票作成やデータ入力、営業資料作成のようなものを想像するかもしれませんが、広義で言えばそれも事務の一つだといえますが、筆者が説明する事務とは大きく分けて下記の2つです。

- スケジュール管理
- お金の管理

人ひとりが1ヶ月使っているお金の知り、生活費の中で削れるもの削るといくらあれば生活できるかを知ることができます。会社も全く同じで、こういった現在の量を知り、それを整えることは全て事務だといえます。

## 現状と「将来の現実」

作中に主人公とジムはスケジュールの話になり、1日の時間の使い方を円グラフで書いていきます。大学を卒業して就職していない状況なので「読書」「外出」「絵を書く」「ぶらぶらする」「音楽を聞く」などが主な活動です。

ジムが「10年後の1日の時間の使い方」で同じ円グラフを作るようにいいます。すると将来の夢をもとに書かれた項目として「執筆」「絵を書く」「作曲」「依頼仕事」などが書かれ、その比較から作者が事務の効果について理解を深める姿が描かれています。

「将来の夢」の前に「将来の現実」があるんだから、「将来の現実」も分からないまま夢ばかり追いかけてたから、ふわふわして何も手につかないし、路頭に迷っていたわけね。

## 事務は将来の現実を具体化すること

人間が持つ抽象的なイメージは新たな技術やサービスを生み出す源泉です。そして事務とはそういった抽象的なイメージを数字や文字に置き換えて具体的な計画や値にする技術だとジムはいます。

作中でも主人公の現状と10年後の時間の使い方には当然のように乖離がありました。将来の現実を実現するために現状でやっていない「執筆」をはじめのようにジムは主人公にいます。今やっていない「やり方」を実践していくことが導入しやすいポイントだと解説しています。

上手くいく人は、うまくいくことしかしません。簡単なことです。「上手くいく」とは、ただ「やり方が合っていた」ということだけなんです。

そう考えると職場における事務も企業の目標やミッション（将来の現実）を実現するための業務だといえるかもしれません。

本書はクリエイターである著者の作品であるために、著作物ができるまでの物語になっていますが、それ以外の仕事に携わっている方でも大きな気づきをもたらしてくれる内容になっています。

自分に自身が持てない、あるいは人からの評価を気にしすぎてしまうなどの悩みを抱えるビジネスパーソンに読んで欲しい一冊です。